

# しまねの土地改良だより

平成 25 年 9 月 1 日発行

 水土里ネット島根

## ■農水省・自民党へ要望活動 =中国四国土連協議会=

中国四国 9 県で組織する中国四国土地改良事業団体連合会協議会（今年度事務局当番県・山口県）は、8 月 1 日、農林水産省と自民党本部を訪れ「平成 26 年度農業農村整備事業の予算編成」と「農業農村整備事業制度等」に関する要望・提案活動を行いました。

当日は、協議会代表の吹田山口県土連会長や本会・田中専務理事など 23 名が参加しました。

一行は、始めに自由民主党本部を訪れ、石破幹事長、高市政調会長に要望活動を行いました。その後、農林水産省の林農水大臣を訪れ、平成 26 年度予算編成に当たり、当初予算をしっかりと確保することや、各県から出された諸事項について要望を行い、島根県からは、農地・水保全管理支払交付金の向上活動支援交付金について、共同活動支援交付金と同様に地域協議会へ交付ルートの一元化や、向上活動の活動期間確保のため、共同活動支援交付金と同様に年度当初からの活動着手及び交付金の繰越しが可能となるよう制度改正を求めました。



林大臣へ要望書を手渡す協議会代表の吹田山口県土連会長（右端は本会田中専務）

これらの要望事項に対し、林大臣は、「農業農村整備に必要な予算総額は、補正予算で対応せざるを得ない場合もあるが、やはり当初予算の割合を増やし確保する必要がある。また、各県からの要望事項に対してもできる限り実現できるよう努力したい」と応えられました。

要望・提案事項は下記のとおりです。

- 1 危険ため池の整備や防災・減災対策の推進と国庫負担の拡充
- 2 農地・水保全管理支払交付金の共同活動支援交付金および向上活動支援交付金の交付制度の改正
- 3 農業用水利施設を活用した小水力発電の導入を促進するため国の支援の充実と規制緩和
- 4 農業集落排水施設等の機能診断調査および最適整備構想策定に係る事業制度の拡充
- 5 農道整備事業の事業制度の復活
- 6 農村地域の多面的機能を保持する末端土地改良施設の保全管理に対する支援制度の創設
- 7 国策である食料自給率向上のための水田汎用化整備に係る採択要件の緩和と国庫負担の拡充
- 8 水土里情報の更新に係る事業制度の創設および地図情報の共有化の促進

■農水省・自民党へ要望活動	1
■水土里情報を活用した「災害復旧事業事務支援システム」	2
■換地土試験合格に向け合同研修会を開催	3
■農業集落排水施設震災対応の手引き説明会	3
■淀原大堤ため池の生態系を守ろう	4
■今後の予定	4

## ■ 水土里情報を活用した『災害復旧事業事務支援システム』

本会では、水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆図（地籍図）やオルソ画像、地形図等を活用した「災害復旧事業事務支援システム」を構築し、平成24年度からシステムの提供を行っています。

過去に発生した災害から当該年災までの被災位置や被災内容のほか、災害復旧事業の補助率増高申請にも関係する農業用施設維持管理区域や維持管理区の被災情報等、災害に関する各種情報を登録し、オルソ画像及び農地・農業用施設等の情報を活用することによって、正確で効率的な災害復旧事務を支援するものです。

また、オルソ画像や道路管理図、河川管理図、地籍図等を背景として農業用施設情報や被災箇所情報、農業用施設維持管理区情報等を関連付ければ、地域防災計画策定や農業用施設の改修計画策定、維持管理業務にも活用できます。

### ◆ 当年災の災害復旧業務で期待される活用

#### ・ 被災箇所の現地調査で活用

地番検索またはオルソ画像上で被災箇所周辺を検索することにより、被害報告のあった被災場所を確定することができます。

地形図やオルソ画像を印刷すれば、現地確認作業の資料として利用でき、作業の効率化が図られます。また、過去に設定された維持管理区の字切り図や写真などの情報を印刷して、現地確認資料としても利用できます。

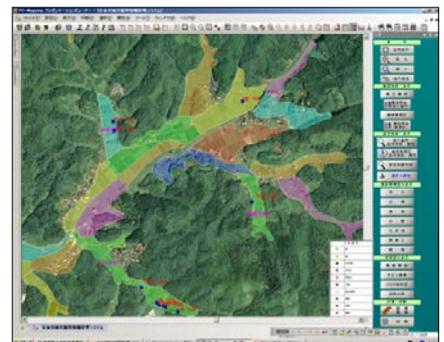
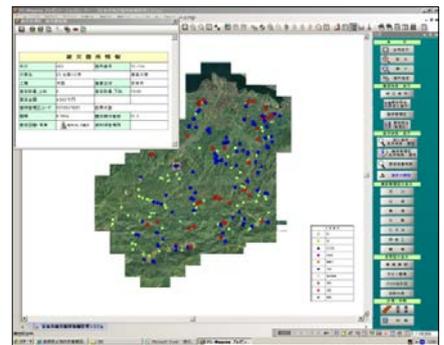
#### ・ 災害発生から査定までの災害復旧事務で活用

過去の災害で被災した農業用施設には維持管理区が設定されていますが、本システムでは維持管理区の受益面積や関係耕作者数、被災歴、字切り図等を保存しています。よって、当該年災の計画概要書や野帳等に記入する受益面積等は、検索処理によって維持管理区属性情報を簡単に入手できます。また、その情報に含まれる字切り図をプリンタやプロッターに印刷すると、査定時に必要な現地周辺を説明する図面として活用できます。

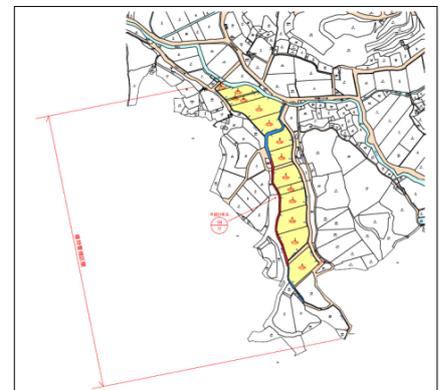
#### ・ 補助率増高申請での字切り図作成に活用

農地筆図（地籍図）や河川網図、道路網図を表示・印刷し字切り図の原図として使用できます。

近年、局地的な豪雨が多く今年も各地で大災害が発生しています。災害発生後の現地調査から査定、補助率増高申請業務と迅速、的確な対応が求められる様々な業務において、業務の効率化に役立つシステムとなっています。



水土里情報システムに登録した被災箇所や維持管理区域図（上：被災箇所、下：維持管理区域図）



水土里情報システムの農地・筆データを活用して作成した字切り図

【問合せ】 本会・総合調整グループ 担当 錦織・経種 電話：0852-32-4141

## ■換地士試験合格に向け合同研修会を開催 =中国四国県土連=

中国四国管内土地改良事業団体連合会合同による換地業務研修会が、9月22・23日、鳥取県土地改良事業団体連合会において開催されました。この研修会は、10月20日に行われる土地改良換地士資格試験受験対策が目的で、中国四国管内から13名の受験希望者が出席し、本県からは土地改良区1名、本会職員2名が参加しました。



鳥取県土連で開催された研修会の様子

開会にあたり、開催県である鳥取県土連の松島常務理事から「ほ場整備事業を実施する上で、測量設計等の農業土木技術と個人の権利関係の調整を図る土地改良換地技術は、車の両輪である。換地技術は、各県土連が長年つちかかった実績から、会員・農家から信頼されている技術、誇るべきオンリーワンの技術である。各県土連は、この誇るべき換地技術をほ場整備事業等を担う後継者たちにしっかりと伝承すべき使命をおびている。」と土地改良換地士資格取得の重要性を訴えられました。

研修会は、講師に全土連の浦山中央換地センター所長を迎え、受験対策のテクニックと平成24年度資格試験問題の解説を中心に行われました。

今回開催された研修会は、過去に毎年30名程度の参加者で開催されていましたが、ほ場整備事業の減少に伴う換地業務の減少や受験者数の減少などの理由で開催されていませんでしたが、中国四国農地集団化協議会が、換地士の資格を目指す技術者を支援する目的で作成した「土地改良換地士資格試験受験用テキスト」の完成が契機となって開催が再開されたものです。

出席者は、浦山所長の講義を熱心に聴き、換地士試験合格への決意を新たにしていました。

## ■農業集落排水施設震災対応の手引き説明会 =中四国農政局=

8月29日、中国四国農政局において、「農業集落排水施設震災対応の手引きの説明会」が、各県・市町及び土地改良連合会等の集落排水担当者を対象に開催されました。

この説明会は、震災に対する事前準備及び発生後の対応について、関係者に周知することを目的として開催されたものです。

説明会では、震災発生前の事前準備として、対象とする震災規模等や被害想定についての整理、震災発生時の対応が円滑に行われるよう震災後の組織体制の立ち上げ、住民への情報周知方法等について定期的に訓練や研修を実施するための計画を策定すること。発生後の対応については、緊急調査を行い被害状況の全体把握をし、施設の破損等による人的被害につながる二次災害の防止、道路交通障害や汚水流出等の防止のための緊急処置の方法などの説明がありました。また、新設整備・耐震対策については、これまでの地震で管路施設（管路、マンホール等）が大きな被害を受けていることから、耐震性・可とう性に優れた管材の選定・施工工法、汚水処理施設については、機器設備の転倒等による破損防止対策や、停電による機能停止時の電源供給対策などの説明がありました。

農業集落排水施設は、農村地域にとって生活に密着した施設であり、今後発生が予想される大規模な震災に対して、被害を最小限に抑え早期に機能の復旧を図ることが重要であります。

本県の参加された各担当者の方々も今回の説明会を通じ、震災対応に対する認識を今以上に深めたと思います。

## ■淀原大堤ため池の生態系を守ろう = 邑南町 =

### 26日のブラックバス駆除の実施に向け水抜き作業進行中

本会では、邑南町の淀原大堤ため池（貯水量74,900m<sup>3</sup>、堤高18.6m、堤長100m）で、ブラックバスなどの外来種駆除活動を実施します。

この活動は、邑南町からの委託により実施するもので、すでに地元関係者への説明会も終え、26日の本番に向け7月下旬から地元水利組合の協力を得て、池干しのための水抜き作業が進行中です。

ため池保全や外来種駆除などに取り組んでいる方や、関心のある方は是非ご参加ください。

詳しくは、本会総務企画担当までお問い合わせください。



水抜き作業が進む淀原大堤ため池

#### 【開催概要】

- 1 開催日時 9月26日（木） 10時～12時（雨天決行）
- 2 開催場所 邑智郡邑南町淀原989「淀原大堤ため池」
- 3 主催 島根県土地改良事業団体連合会
- 4 活動内容 駆除（網による捕獲、魚類仕分け、計測記録、処理）・観察会

※本会では、ため池の農業用水水質保全や生態系保全を目的とした、ブラックバスなどの外来種駆除業務を受託していますので、お気軽にご相談ください。（担当部署：総務企画担当）

## ■今後の主な予定

- 9月 4日 第5回島根県浜田地区集排汚泥利活用検討委員会（浜田市）
- 9月 4日 全国ため池等整備事業推進協議会通常総会（東京都）
- 9月 4日 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者研修会（東京都）
- 9月11日 第36回全国土地改良大会・北海道大会（北海道・札幌市）
- 9月26日 淀原大堤ため池ブラックバス駆除（邑南町）



水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)